

研究科 /Graduate School	テクノロジー・マネジメント研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	テクノロジー・マネジメント専攻
入試方式 /Admission Method	一般、外国人留学生（RJ方式）、飛び級
試験科目 /Exam Subject	小論文
実施日（試験日） /Exam Date	2025年7月6日、2025年11月16日 2026年2月14日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>一般入学試験、外国人留学生入学試験、飛び級入学試験での小論文における「出題意図」及び「採点時の観点」は下記の通りである。なお、小論文は「解答又は解答例」そのものの公表がなじまないと考えられるため、これに代わり「採点時の観点」を公表する。</p> <p>小論文問題は、大問1（テーマ別論述）と大問2（自由論述）の二部構成となっており、それぞれ異なる能力を測るよう設計されている。</p> <p>大問1では、技術経営に関する基本的な概念や理論についての理解を確認する。小問が5つ設定されており、それぞれ特定の用語に関する論述を求める形式となっている。大問1の出題意図は、受験者が技術経営分野の基礎知識を適切に習得しているかを評価することにある。技術経営は多様な理論やフレームワークによって成り立っており、それらの基本概念を正確に理解し、説明できることが、より高度な議論や実践的な応用へとつながる。大問1の採点では、単なる暗記ではなく、概念の本質を理解し、自分の言葉で説明できているかが重視される。</p> <p>大問2は、技術経営に関する考察力を問う設問である。具体的な事例や課題を提示し、それに対して受験者がどのように分析・考察し、論理的に説明できるかを評価する。大問2の出題意図は、受験者が技術経営の知識を単に理解するだけでなく、それを応用し、自らの視点をもって論じることができるかを測ることにある。技術経営は、単なる理論的知識にとどまらず、実際の経営判断や戦略立案に応用される学問である。そのため、与えられた問いを的確に捉え、論理的に考察できる力が求められる。大問2の採点では、受験者が得た知識を基に、具体的なケースを分析し、独自の見解を述べることが重視される。</p>	